

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 ・定時株主総会 3月31日
・期末配当 3月31日

公告方法 電子公告により行います。

(当社のホームページに掲載
<https://www.utoc.co.jp/>)

事故、その他やむを得ない事由によりホームページに掲載できない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎0120-782-031

<https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がない株主様は、当社が開設した特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。「配当金計算書」は、配当金をお受け取りになった後の配当金額のご確認や、確定申告の資料としてご利用いただけます。確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。



株式会社 宇徳

〒231-0007
神奈川県横浜市中区弁天通六丁目85番地
TEL: 045-201-6931
証券コード 9358



第153期 中間期 株主通信

2019.4.1 ~ 2019.9.30

UTOC PRESS

TOPICS

大岡川横断人道橋の一括架設工事を実施

NEWS FLASH

「創造空間 万国橋SOKO」の看板を変更
宇徳ロジスティクスがISO39001認証を更新



株式会社 宇徳



株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。
また、このたびの災害により被害を受けられた皆様には、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧をお祈りいたします。
さて、ここに当社153期第2四半期における取組みおよび成果についてご報告申し上げますとともに、今後の見通しについてご説明申し上げます。

2019年11月

代表取締役社長 **田邊 昌宏**

Q 当第2四半期連結累計期間(2019年4月1日から9月30日まで)の営業概況はいかがでしたか

A 当社を取り巻く事業環境としては、京浜港(東京港・横浜港)全体の外貿コンテナ取扱量は緩やかに増加いたしました。また、わが国からの完成車輸出台数における総数は堅調に推移した一方、建機等の輸出動向は減少に転じました。当社プラント・物流事業のコア領域のひとつである橋梁工事については、対象となる国内公共インフラストラクチャーの更新需要は引き続き

底堅く推移いたしました。

このような経営環境のなか、当社グループをあげて効率的な事業運営を推し進めた結果、営業収入は264億57百万円(前年同期比5.5%減)、営業利益は14億43百万円(同17.2%増)、経常利益は15億98百万円(同9.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億9百万円(同1.5%増)となりました。

Q 通期の見通しはいかがですか

A 第3四半期以降の事業環境につきましては、港湾事業におけるコンテナターミナルでの取扱量が減少に転じるリスク、またプラント・物流事業における国内受注工事の工程が想定より遅延すること等が見込まれ、通期の業績予想に影響を及ぼすことが想定されます。しかしながら、港湾事業における当社

取扱対象車輛の増加を取り込むこと、国内外のグループ会社を挙げた業務の効率化および採算向上に努めてまいりますことから、2020年3月期通期連結予想につきましては、2019年4月26日に「2019年3月期決算短信」で公表しました業績予想から、変更はございません。

Q 株主の皆様へメッセージをお願いいたします

A このたびの災害により当社の事業所等にも一部被害がございましたが、迅速な復旧作業にて、現在は通常通り業務を遂行しております。今後も当社の強みである「現場力」を発揮し、あらゆる環境の変化に対し機敏

に対応することで、物流・インフラを支え人々の暮らしに貢献してまいります。

株主の皆様におかれましては、何卒、一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

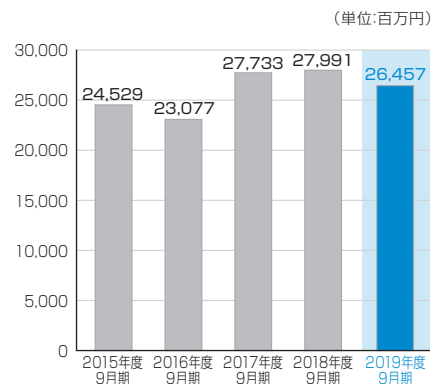
企業理念

1. 顧客のニーズと時代の要請に沿った高品質なサービスの提供を通じ社会に貢献し、企業価値の向上を目指します。
2. 社会規範と企業倫理に則った透明性の高い経営を行い、チャレンジ精神豊かな人間性を尊ぶ企業を目指します。
3. 全ての事業領域での安全確保の徹底と環境保全に努めます。

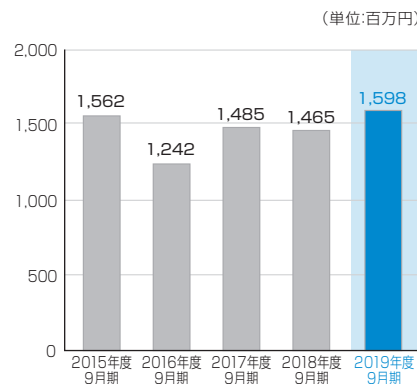
第153期 第2四半期ハイライト

営業収入	264億57百万円	前年同期比	- 5.5%
経常利益	15億98百万円	前年同期比	+ 9.1%
親会社株主に帰属する四半期純利益	10億9百万円	前年同期比	+ 1.5%
1株当たり四半期純利益	23円34銭	前年同期比	+ 1.6%

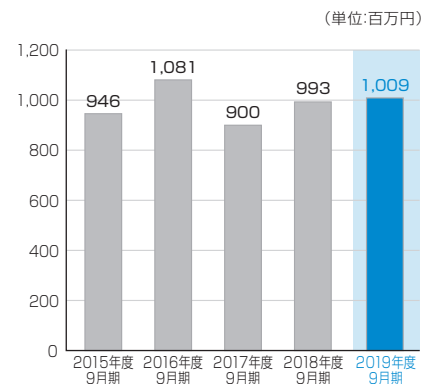
営業収入



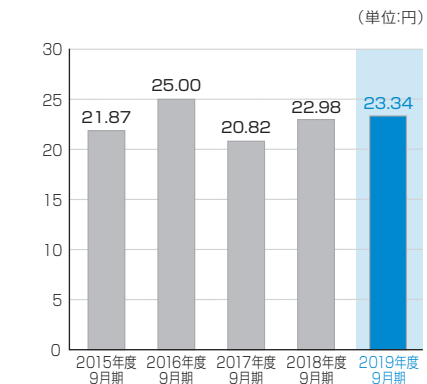
経常利益



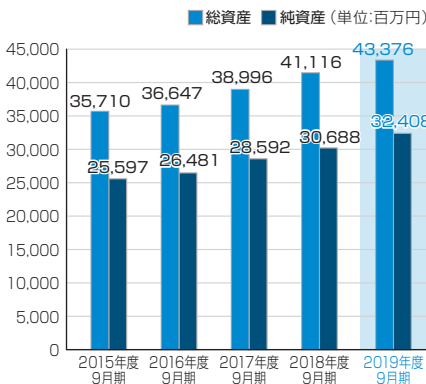
親会社株主に帰属する四半期純利益



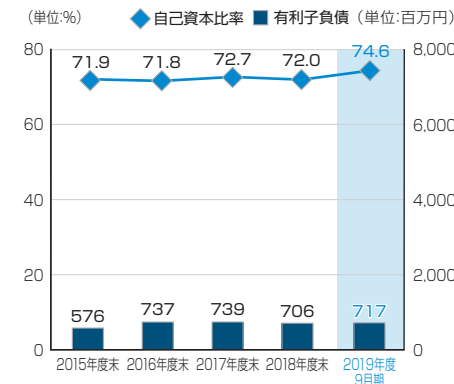
1株当たり四半期純利益



総資産/純資産



自己資本比率/有利子負債



連結貸借対照表(要旨)

科目	期別	当第2四半期	前第2四半期	前期
		会計期間末	会計期間末	前期
		2019年9月30日現在	2018年9月30日現在	2019年3月31日現在
●資産の部				
流動資産		24,922	23,398	26,585
現金及び預金		4,888	3,706	4,212
受取手形及び営業未収入金		9,649	9,385	11,885
その他		10,498	10,423	10,599
貸倒引当金		△ 113	△ 116	△ 112
固定資産		18,454	17,717	17,747
(有形固定資産)		(11,805)	(10,377)	(10,625)
建物及び構築物		4,396	3,984	3,905
機械装置及び運搬具		3,003	1,865	2,547
土地		3,063	2,604	2,606
その他		1,342	1,922	1,565
(無形固定資産)		(2,239)	(2,460)	(2,343)
(投資その他の資産)		(4,408)	(4,879)	(4,778)
投資有価証券		2,025	2,466	2,211
その他		2,818	2,741	3,007
貸倒引当金		△ 434	△ 328	△ 440
資産合計		43,376	41,116	44,332

(単位:百万円)

科目	期別	当第2四半期	前第2四半期	前期
		会計期間末	会計期間末	前期
		2019年9月30日現在	2018年9月30日現在	2019年3月31日現在
●負債の部				
流動負債		7,200	7,120	8,949
支払手形及び営業未払金		3,848	3,977	5,008
短期借入金		682	648	659
1年内返済予定の長期借入金		28	26	27
その他		2,641	2,467	3,254
固定負債		3,767	3,307	3,402
退職給付に係る負債		2,777	2,698	2,767
その他		989	609	635
負債合計		10,967	10,428	12,351
●純資産の部				
株主資本		31,183	29,218	30,693
資本金		2,155	2,155	2,155
資本剰余金		330	330	330
利益剰余金		28,728	26,763	28,237
自己株式		△ 30	△ 30	△ 30
その他の包括利益累計額		1,158	1,405	1,222
その他有価証券評価差額金		796	969	792
為替換算調整勘定		415	484	488
退職給付に係る調整累計額		△ 53	△ 47	△ 58
非支配株主持分		66	63	65
純資産合計		32,408	30,688	31,981
負債及び純資産合計		43,376	41,116	44,332

セグメント別概況(連結)

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	期別	当第2四半期 累計期間 2019年4月1日から 2019年9月30日まで	前第2四半期 累計期間 2018年4月1日から 2018年9月30日まで	前期 2018年4月1日から 2019年3月31日まで
営業収入		26,457	27,991	58,979
営業費用		20,801	22,527	46,981
営業総利益		5,655	5,463	11,997
業務費及び一般管理費		4,212	4,231	8,606
営業利益		1,443	1,231	3,391
営業外収益		168	239	342
営業外費用		13	6	39
経常利益		1,598	1,465	3,694
特別利益		19	47	97
特別損失		55	9	72
税金等調整前 四半期(当期)純利益		1,562	1,503	3,719
法人税、住民税及び事業税		501	356	1,141
法人税等調整額		52	153	110
四半期(当期)純利益		1,009	993	2,468
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益		1,009	993	2,468

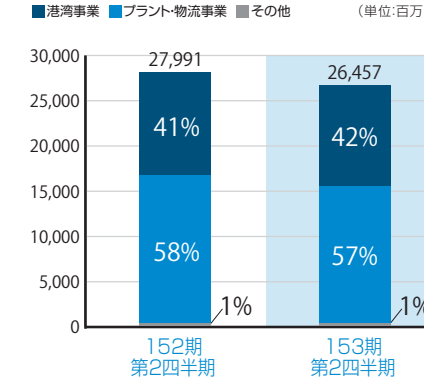
連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	期別	当第2四半期 累計期間 2019年4月1日から 2019年9月30日まで	前第2四半期 累計期間 2018年4月1日から 2018年9月30日まで	前期 2018年4月1日から 2019年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー		2,817	1,650	3,152
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 2,176	△ 766	△ 1,651
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 595	△ 520	△ 636
現金及び現金同等物の 換算差額		△ 44	△ 61	△ 61
現金及び現金同等物の 増減額		1	300	804
現金及び現金同等物の 期首残高		3,882	3,077	3,077
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高		3,883	3,378	3,882

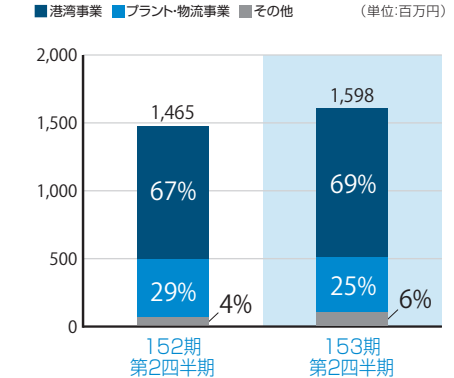
セグメント別営業収入

(単位:百万円)



セグメント別経常利益

(単位:百万円)



港湾事業



営業収入
110億92百万円
経常利益
11億2百万円

コンテナターミナルでは、コンテナ取扱量が前年度の落ち込みから回復しました。一方、港湾地区での倉庫作業の契約満了や車輛の取扱い減少により収益は伸び悩みました。各事業所で料金の見直しや作業の効率化に努めた結果、損益を改善しました。事業全体では前年同期比で減収増益となりました。

プラント・物流事業



営業収入
150億93百万円
経常利益
3億98百万円

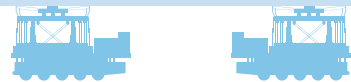
プラントは橋梁運搬・架設工事の需要を取り込み、工事実績は伸びましたが、国内バイオマス発電設備建設工事の工程遅延を受け、当累計期間に見込んでいた収益の一部が第3四半期以降にずれ込み、採算の下押し圧力が強まりました。また、物流は料金の見直しや業務の改善に努め、採算を向上させました。事業全体では前期における海外工事の収益、利益規模を埋めるには至らず、前年同期比で減収減益となりました。

その他

自社ビル等不動産の賃貸等があります。

大岡川横断人道橋の一括架設工事を実施

宇徳本社ビル近くで当社保有機材が活躍

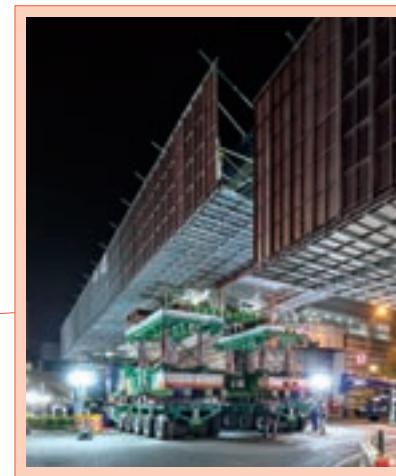
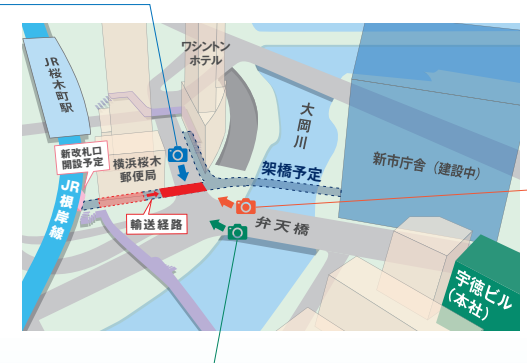


9月26日夜間、当社プラント営業部・プラント工事部・技術部は大岡川横断人道橋の一括架設工事を実施いたしました。本工事はJR桜木町駅新改札口から桜木町入口交差点を横断する区間に橋桁(全長約36m、重量約77t)を輸送・据付するものです。当日は当社保有の昇降ジャッキ「スーパーテーブルリフト」を搭載した多軸台車「スーパーキャリア」

5軸タイプ4台を4人のオペレーターが別々に運転しました。輸送経路に縁石や勾配があるため、慎重な作業を求められましたが、当社の熟練した技術を活かして4台が同じ速度で高さを調整しながら輸送いたしました。その後、ジャッキを降下させスーパーキャリアが離脱、工事は無事終了いたしました。



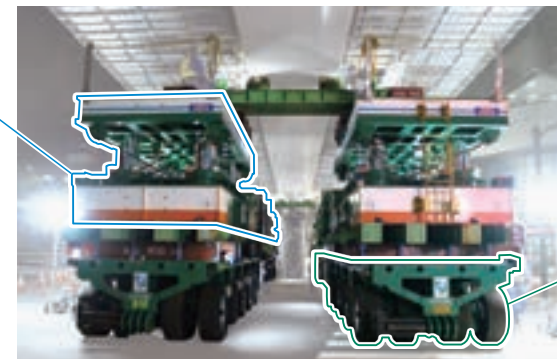
JR桜木町駅や地下鉄桜木町駅から新市庁舎等へ信号を渡らずにアクセスできるようにY字状に人道橋を架設する工事です。当日は最終バス通過後の0:15頃から5:00まで交通規制し作業いたしました。



▶ 機材紹介

スーパーテーブルリフト

スーパーキャリアとの連動による橋梁の架設・撤去用に開発されたジャッキ装置。1台あたり250tの昇降能力を有し、最大2.2mのストロークで多種多様な作業が可能です。



スーパーキャリア

重量物輸送に最適な特殊車両。3～5軸車を組み合わせた編成、全車の一括オペレーションによる同調運転、全方向への進行可能など特長を活かしてあらゆる形状の重量物輸送を可能にしています。

「創造空間 万国橋SOKO」の看板を変更
知名度向上や士気高揚を目指し、「宇徳」に

10月7日、当社所有ビル「創造空間 万国橋SOKO」の壁面にある大阪商船三井船舶のロゴマークを変更いたしました。当社名を視認いただくことで、知名度の向上および社員の士気高揚を図ってまいります。

万国橋 SOKO とは

1968年に「万国橋倉庫」として竣工した建物を、横浜市の「地域再開発計画“ナショナルパーク構想”」に協賛して2006年に改修したクリエイティブな空間です。みなとみらい地区にある万国橋の袂に位置し、テナントとして文化芸術に携わるスタジオや工房等が入居しております。



変更前



変更後

宇徳ロジスティクスが ISO39001 認証を更新
安全運行体制をさらに強化・充実

10月25日、当社グループ会社の宇徳ロジスティクス(株)はISO39001(道路交通安全マネジメントシステム)認証を更新いたしました。2013年10月25日に国内海上コンテナ輸送業界で初取得し、今回で2度目の更新となります。

ISO39001は交通事故による死傷者を減らすことを目的に、道路交通安全のためにさまざまな組織が取り組むべきマネジメントシステムの要求事項を定めた国際規格です。ISO39001認証を受けていることにより道路交通安全に関わる取り組みを積極的に行っている優良企業として認められ、お客様からの信頼向上に繋がります。

引き続き事故撲滅・交通安全強化を継続し、当社グループの企業価値向上を図ってまいります。



ISO39001のロゴ入り車両が運行中



認定書
対象: 本社(安全衛生推進室、自動車整備部)、横浜営業所、東京営業所、仙台支店

雑誌の取材を受けました

8月中旬、当社は重機ファン向け雑誌「重機 fan Vol.4」(発行: 株式会社八重洲出版、現在発売中)の取材を受けました。「重機 fan」は建設機械や輸送機械などの重機を紹介するムック本です。取材は東京国際コンテナターミナルで行われ、本誌では荷役の様子や機器のスペック等を詳しく紹介、ガントリークレーン操縦者のインタビューも掲載されています。



商号	株式会社宇徳
本社所在地	神奈川県横浜市中区弁天通六丁目 85 番地
創業	1890年(明治23年)3月1日
設立	1915年(大正4年)12月8日
資本金	21億5,530万円
従業員数	2,147名(連結)
主要な事業内容	港湾運送事業、海上運送事業、一般貨物自動車運送事業、貨物利用運送事業、倉庫業、通関業、建設業、不動産業

役員	代表取締役社長	田邊 昌宏
	代表取締役副社長	奥野 淳
	専務取締役	小川 宏
	常務取締役	北見 毅彦
	常務取締役	廉岡 卓
	常務取締役	佐々木 敏幸
	取締役	小嶋 茂
	取締役	鍋田 康久
	取締役	片野 英明
	取締役	赤羽 正光
	取締役	小川 真司
	※1 取締役	渡会 一郎
	※1 取締役	桜田 治
	※1 取締役	中井 元
	常勤監査役	飯田 知己
	※2 常勤監査役	津田 昌明
	※2 監査役	沖 恒弘
	監査役	実 謙二

(注) ※1は、社外取締役であります。 ※2は、社外監査役であります。

宇徳グループ 17社

宇徳トランスネット(株)	宇徳ロジスティクス(株)
九州宇徳(株)	宇徳プラントサービス(株)
宇徳港運(株)	ターミナル・エンジニアリング(株)
宇徳ターミナルサービス(株)	宇徳流通サービス(株)
(株)宇徳ビジネスサポート	アジアカーゴサービス(株)
ASIA UTOC PTE.LTD.	UTOC ENGINEERING PTE.LTD.
UTOC(THAILAND)CO.,LTD.	UTOC AMERICA,INC.
UTOC PLANT CONSTRUCTION SDN.BHD.	
宇徳物流(天津)有限公司	
UTOC MULTIPACK MYANMAR CO., LTD.	